

# 一般質問 一問一答



水井 清光 議員

## 日本国憲法小冊子 全世帯配布

**問** 5月に市長のもとで日本国憲法の冊子を全世帯に配布した。震災から6年目に入り、原発事故による地域設定により市民の公正性が問われているなかで、憲法冊子を配布した意味は大変大きいものである。市民に日本国憲法をご覧いただきたい、憲法を自分のものとして責任を果たす意識を醸成することが何より意義があると考え

**答** 市長の今度の災害対応と、これからの日本の国のありようについて見解を伺う。  
**問** 今回、日本国憲法の小冊子を配布した。それは震災、そして原発事故で南相馬市が多大な被害を受けたと云うことも起因はしているものの、日本国憲法による基本的人権の保

障は、国民の自由や権利に対する国家権力の侵害を防止すると云うことを目的にしていると思う。震災・原発事故によって憲法で保障された人権の大切さと云うものを改めて痛感させられた。加えて、平和であることの大切さも必要性として考えさせられた。市民の皆様に、憲法で保障する権利の保持と自覚を促すことを目的に、日本国憲法小冊子を配布させていただいた。



南相馬市が配布した日本国憲法小冊子

### 質問を終えて

日本国憲法に云う主権在民、基本的人権、永久平和の三つの理念と人それぞれの生存権。

### その他の質問

- 1 ロボット産業の集積
- 2 学校教育の強化は
- 3 介護職員が長期間働くこととの条件整備



鈴木 昌一 議員

## 調整力欠如は 市民の不利益招く

**問** 避難指示解除後、市立小高病院はどのような医療機能を担っていくのか伺う。

**答** 当面週5日の外来診療を堅持する。入院機能の再開を含む病院のあり方については、設置する新公立病院改革プラン策定委員会での方向性を決定する。

**問** 新改革プランでは、市立総合病院が担う役割の明確化として、脳血管疾患を含む救急医療のさらなる充実に取り組みことが示されるものと考え。一方で、公営企業として、継続して安定的に運営されるためには、経営の効率化は避けて通れず、医療の質の向上等による収益の確保に積極的に取り組む必要がある。

**問** この際、病院事業の経営改革に知識と情熱



建設が進む市立総合病院脳卒中センター（平成28年2月開院予定）

る都市環境の再生を掲げ、若年層や子育て世代の移住・定住を促進しようとする本市が、地域周産期母子医療センターの整備に消極的と映るのは何故か。

**答** 国や県、また県立医大とも協議しているが、改善に至っていない。引続き努力する。

### 質問を終えて

周産期医療システムの構築は県の責務だが、同時に域内当事者の調整能力が問われている。

### その他の質問

- 1 避難指示解除後の小高区の医療需要は
- 2 脳卒中センター整備費拡大と収支見通しは
- 3 周産期医療を地域でまもる取組みを



渡部 一夫 議員

# 7月12日の 避難指示解除は

根拠について何う。

**問** 市民説明会等での住民の意見、要望、疑問等に対し、(私たちも冊子でもらっている)市の考え方を示しているが、住民の反応をどのように受けとめてきたのか何う。

**答** この間の説明会に当初一カ所で500人程度来て頂いた訳だが、平成25年、平成26年、平成27年、更に今年の5月まで開催する中で、住民のそれぞれの気持ちも変わってきている。一刻も早く再建したいという気持ちを受けとめてきたと思っている。

**問** 市長はこれまで解除日を設定する権利は有さない、住民及び議会の意見を踏まえて対処するとの考えを示していた。住民及び議会の意見を、7月12日とした



除染現場に向かうトラック

**問** 最後にここだけは確認しておきたいと思う。解除は、誰のため

12日に同意した。

**答** 12日としたことは、私が説明会の中で様々な意見を聞く中で、反対の意見も踏まえた時に、大きな原因の一つが線量の問題や賠償の問題だったことから、それらを踏まえて7月12日に同意した。

のもでもない。住民のためのものであることを忘れてならないと考えるが、改めて市長の考えを何う。

**答** まさにそのとおりだと思っている。

## 質問を終えて

原発事故から元の生活を取り戻すのに、なぜ私達が我慢を強いられるかが分からない。

- その他の質問
- ① 児童福祉法等の一部改正について
  - ② 企業への支援策は
  - ③ 救急体制の整備は



門馬 和夫 議員

# 産業復興の拠点と 交通網の整備

**問** 市内に、産業・起業を支援する組織は数々あるが、起業時の手続きや施設確保など必要な支援を完結できる組織は少ない。

**答** 市内に、産業・起業を支援する組織は数々あるが、起業時の手続きや施設確保など必要な支援を完結できる組織は少ない。若者支援の視点も重要であり、大学が連携して研修する施設や宿所等も備えた、市の支援機能を強化・集約した拠点を萱浜地区に整備すべきであると思うが見解を何う。

**答** 萱浜地区には、環境創造センターなどに加えロボットテストフィールドや国際産学官共同施設も設置される。今後、国際産学官共同施設の中に市の総合的な窓口を設置することが有効と考えているが、(株)ゆめサポート南相馬の機能を一新、増強することも含めて総合的に検討する。

**問** 常磐自動車道の4車線整備計画が発表されたが、南相馬市を含む87kmは取り残された。自動車道は、中間貯蔵施設への搬入道路となるが、4車線化と小高スマートIC実現に向けた今後の対策を何う。

**答** 各種期成同盟会や県等と連携を図り要望していく。スマートICは、現在行っている基礎調査の成果を基に係機関と協議してゆく。

**問** 市長から、国土交



萱浜に立地が進む、各種研究施設

通大臣や復興庁などへ「整備しろと申し上げてきた」との従来答弁もあり期待したが、結局取り残された。発表後の活動内容を何う。

**答** 我々にとって納得できない内容であるので、今後とも要望していく。また、立谷市長以下、市長会を通じた形でも要望を上げていく。

**問** 市長から、国土交

## 質問を終えて

年1回総会時の要望活動程度では、実現しません。重要な要望こそ、きめ細かに・丁寧に！

- その他の質問
- ① 強く県道原町川俣線拡幅・改良要望を！
  - ② 当面の特急バスも含めJR線の充実を！
  - ③ 出産数が増えている産科の確保に向けて